

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 4 枚)

氏 名 一色 真一

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)		<p>地震対策について</p> <p>津波対策のハザードマップの見直しについて</p> <p>令和6年能登半島地震発災の際、加賀市にも津波警報が発表され伊切町をはじめ湖北地区の住民は一白町会館やホテルアローレに避難してきた。</p> <p>湖北地区の指定避難所は湖北地区会館及び湖北小学校であるが、避難所の海拔および津波の高さを考えると、この場所では不安である。</p> <p>湖北地区においては、これらの避難所より海拔が高い土地があることから、今回の地震を機会に、より安全な指定避難所の選定を含め、ハザードマップを見直す必要があると考えるが所見を問う。</p>	
	(2)		<p>避難所対策について</p> <p>輪島市においては、「避難者の食料は2,000人×1日3食どころか、全部で2,000食分しかなかった」と聞いた。今回の地震で、災害対策が改めて問われることとなった。</p> <p>そこで、加賀市における食料の備蓄について、避難者の人数、期間をどのように想定し、どれだけの備えを持っているのか。</p>	
	(3)		<p>市内中学校体育館空調設備整備事業について</p> <p>今回の災害で、痛感したのは、1次避難所の環境の悪さである。県内各地の避難所において、冷え冷えした板場で雑魚寝する映像を見て心が痛んだ。この空調設備整備の提案は、令和5年12月定例会で議員から提案があったばかりでなく、大聖寺実業高校の生徒と加賀市議会との意見交換会における意見集約でも提案されている。生徒の提案に敬服するとともに、予算化されたことについては評価したいと思う。しかしながら、早急に整備すべき事業であるにもかかわらず、今回の予算額では、全く不十分であると思われる。事業のさらなるスピードアップを求めるものであるが、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2 枚目 / 全 4 枚)

氏 名 一色 真一

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(4)	<p>加賀市の耐震化率について</p> <p>今回の震災の死因の 86%が家屋倒壊による圧死であったと聞く。耐震化の遅れが、被害の拡大を招いたと見られる。</p> <p>加賀市の現在の住宅の耐震化率はどれだけか。</p> <p>また、今回の災害を受けての対策について問う。</p>	
	(5)	<p>耐震工事について</p> <p>一棟全てを耐震補強しようとする高額となり、補助も難しいと思われる。横浜市では、防災ベッドや耐震シェルターに対して 10 万円から 30 万円程度の補助を行っている。</p> <p>加賀市においても検討すべきと考えるが、所見を問う。</p>	
2	(1)	<p>加賀市版ライドシェアについて</p> <p>乗客の安心・安全について</p> <p>自動車に他人を乗せ運賃を徴収するためには、運行管理者がドライバーの健康状態を把握し、疲労、飲酒などのチェックを対面で行わなければならないが、加賀市の場合、これらが守られるのか。</p> <p>また、車両整備や安全点検についても、基準が明確でなく義務付けられていないが、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>事故の責任と補償問題について</p> <p>募集では「ドライバーの登録にあたり、加賀市観光交流機構と業務委託契約を締結する。雇用契約ではない。」と明記していることから、事故時の責任と補償問題は全てドライバーの責任となり、運行管理会社は運行に責任を持たず、安全の確保も個々のドライバー任せになる。しかし、募集要項にはそれらの説明がない。</p> <p>既に行っているアメリカなどでは犯罪の多発や事故の責任が一般のドライバーに押し付けられるなどの問題が発生しているとのことである。</p> <p>加賀市の場合、事故が起きた時の対応や補償についてははどうか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨

(3 枚目 / 全 4 枚)

氏 名 一色 真一

	発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
	(3)	<p>自動車学校の指導員を登録することについて</p> <p>普通自動車第二種運転免許を持つ自動車学校の指導員を登録させるとあるが、指導員たちをドライバーに登録すると、オーバーワークになり、本業への影響が懸念されるとともに、普通自動車第二種運転免許が必要ではないかとの批判をかわすための言い逃れではないかと思われる。</p> <p>普通自動車第二種運転免許を持つ自動車学校の指導員を登録させることの必要性について、所見を問う。</p>	
	(4)	<p>公共交通労働者の待遇改善等について</p> <p>ライドシェアのきっかけは、タクシーやバスなどが不足しているからそれを補うところからだが、そもそもそこに働く労働者の賃金が安いから成り手がいないのだから、ここを改善しないといけないのではないか。</p> <p>自治体としては、市民の移動手段を確保すべきであり、公共交通機関としての営業を支援すべきである。</p> <p>しかし、このライドシェアはそのタクシーよりも安い運賃を設定するという。これは加賀市に住む公共交通労働者の待遇を安いほうへ誘導するものではないか。逆に、待遇改善策を検討すべきと考えるが、所見を問う。</p> <p>また、いずれ、会社を通さずに、運転手と利用者との直接の取引となり、ルールも秩序も存在しない無法状態が起こりうるものが懸念されるが、その歯止めはあるのか。</p>	
3	(1)	<p>未来型商業エリアについて 事業の進捗等について</p> <p>昨年秋の説明において、今年の年明けから交渉に入る予定であると聞いたが、その後の進捗状況について説明せよ。</p> <p>また、ある地権者からは「加賀温泉駅南地区開発の用地賃貸契約を 10 月までに終えるため、3 月から各地権者との契約を進める計画であるが、事業者、賃貸料等が明確に示されていない。」と聞くが、土地の賃貸借の状況についても問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨

(4 枚目 / 全 4 枚)

氏 名 一色 真一

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(2)	<p>将来性について</p> <p>食料自給率向上が叫ばれている中、優良農用地約 80 ヘクタールを商業地に転換するという時代の要求に逆行する施策と思われるが、周りからも同じ意見を多く聞く。さらに数年のうちに撤退すると思うとまで言う声も聞こえている。</p> <p>以前取ったアンケートでも「期待する」が約 35%だったと記憶するが、反対意見が残りの約 65%ではないか。この声を無視できないのではないか。こうした反対、不安の声を払拭できるような将来の展望について、所見を問う。</p>	
4	<p>優良農用地の転用について</p> <p>未来型商業エリアによって約 80 ヘクタールの農地が失われようとしている上に、さらに新保町でも約 32 ヘクタールの優良農地を産業団地にしようとしており、合わせて約 112 ヘクタールという広大な優良農用地が潰されようとしている。</p> <p>一方で予算案の中に「次世代担い手農業者育成支援事業」として、少子高齢化による農業の担い手不足を解消し、次世代の担い手となる新規就農者を確保するため、就農時の課題となる農地確保や初期投資を重点的に支援するとある。</p> <p>これだけの優良農地を潰しておきながら農地確保はあり得ない。明らかに矛盾していないか。</p> <p>特に、今年は令和 6 年能登半島地震の影響で、市内においても農作物の作付に影響が出るのではないかと不安が広がっている。食料自給率向上どころか現状維持すらも難しいのではないか。</p> <p>農地確保の必要性について、所見を問う。</p>	